

研究部会 活動計画書

研究部会の名称

災害廃棄物研究部会

研究部会の今期(3～5年間)の活動目的

本研究部会が、災害廃棄物対策に関わる学会員が相互のネットワークを構築し、互いに知見を共有するとともに、見識を高め合う場として機能するよう、活動の方向性を定めると同時に、基礎となる学会員の情報プラットフォームを構築し、災害時の学術的知見を集約する仕組みを整備する。

研究部会の設置期間 年のうち、今年度は 年目

今年度の活動計画

年次研究発表会における企画セッションの計画・概要

年次研究発表会における企画セッションの開催は未定である。できる限り春の研究討論会時の開催に集約させる意向である。

春の研究討論会では、「災害廃棄物発生量推計の研究動向」と題するセミナーを開催予定である。当該研究に関する最新動向を共有し、研究成果の社会実装に向けた取り組み、最適な災害廃棄物処理支援のあり方について参加者と情報共有を行い、議論する。

研究部会としての独自活動の計画・概要

1. 現地調査に基づく災害廃棄物対応における重点課題の抽出

災害廃棄物対応を完了させた自治体等を対象に現地調査を行い、対応の詳細を調査することにより重点課題を抽出する。その際、部会員+支部会員からなる調査チームを編成することで、地域支部との連携体制の強化を図る。

2. 抽出課題に基づく研究活動の推進

上記1. で抽出された重点課題をもとに研究活動の推進を図る。令和7年度においても災害廃棄物発生量推計に関する検討を進め、部会員相互の研鑽のため、定期的に勉強会を開催する予定である。

3. 学会内における連携体制強化の検討

平時における部会員と各地域支部・他部会・学会員との連携を強化し、災害対応力を高める。令和7年度においては上記1. を念頭に地域支部との連携を図る。また、現地支援のみならず後方支援による支援チーム内連携のあり方を検討する。

4. 他学会や環境省等の各関係機関との連携体制強化の検討

防災学術連携体、環境省の企画への参加等として連携強化を図る。

5. 国際連携体制強化の検討

3RINCS内の各セッション、英文誌特集号執筆、学会誌特集号執筆等を通して情報発信を進めつつ、連携強化を図る。

6. 災害廃棄物に関する知見の共有と蓄積・アーカイブ化の検討

平時における知見の共有と蓄積を図るためのアーカイブ化と交流活性化を図る。また部会員が中心になって執筆した「災害廃棄物管理ガイドブック」に基づく講習会の開催を検討する。